

## 循環器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心筋症の心房細動合併患者における左心房形態と肺静脈アブレーション治療後再発率との関連について— CT での検討

[研究機関] 北海道大学医学研究科循環病態内科学

[研究責任者] 筒井 裕之（循環器内科・教授）

### [研究の目的]

心房細動の患者さんは心臓の左心房と肺静脈が拡大していることが知られています。カテーテルアブレーションの前に、これら心臓の変化を詳細に心臓CTで調べることによって、治療成績が異なる可能性があります。今回の調査では、現在までに行った心臓CTの過去の情報を見直し、根治治療が難しいといわれる心筋症を持った心房細動の方と、心筋症のない心房細動の方の間で心臓の構造がどのように異なるか検討します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

心房細動の患者さんで、2008年1月から2014年5月までの間に当院で心房細動の治療前に心臓CTの検査を受けた方

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病歴、使用薬剤、胸部レントゲン写真、心電図、心エコー図検査、血液検査、CT、手術内容

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学 担当医師 納谷 昌直

電話 011-706-6974 FAX 011-706-7874